



1月新着おすすめ本

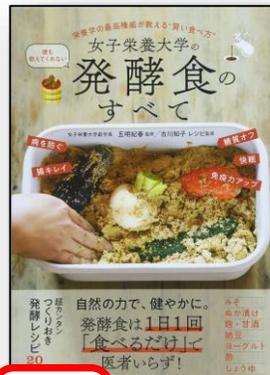


『不思議なお菓子レシピ サイエンススイーツ』

太田さちか(著) (マイルスタッフ)

宝石のお菓子、溶けない、アイス層ドリンクなど、不思議なスイーツを中心にサイエンススイーツのレシピを65種類掲載。(Amazonより抜粋)

596.65
00



『女子栄養大学の誰も教えてくれない発酵食のすべて』

五明 紀春(監修) 古川知子(レシピ監修) (エクснаレッジ)

自然の力で、健やかに。発酵食は1日1回「食べるだけ」で医者いらず!超カンタン作りおき発酵レシピ20。(「BOOK」データベースより)

596.31
Z1



『カラスは飼えるか』

松原 始(著) (新潮社)

案外と、ヘタレで弱気なのに、悪賢と思われがちなカラスの生態やポイントを、あますところなく「カラス先生」が伝えます。カラスって、やっぱりおもしろい!カラス好き、鳥好きに贈る、愉快な一冊。

488.99
MA

(「BOOK」データベースより)



『生き物はどのように土にかえるのか』

動植物の死骸をめぐる分解の生物学

大園 享司(著) (ベレ出版)

生き物の死骸が分解されるプロセスを見ながら、生き物の死骸を利用する動物や昆虫、カビやキノコなどの菌類、細菌などの生き方を紹介。

(Amazonより抜粋)

468
00

人生を変える『ドラえもん』セレクション

『おとなになるのび太たちへ』

藤子・F・不二雄 (イラスト) (小学館)

子どもたちが憧れる職業について10人のおとなが、てんとう虫コミックス『ドラえもん』から、選りすぐりの1話をレコメンド！
自分はなにになりたいのか、どう生きたいのか、迷っている子どもたち(もちろんおとなたちにも)の道標となる1冊。

(Amazonより抜粋)

726.1

HU



10代から知っておきたい
あなたを閉じこめる

『「ずるい言葉」』

森山至貴 (著) (WAVE出版)

大人より弱い立場にある子どもが「ずるい言葉」にだまされないようにするためのヒントを伝える本です。大人にも実感を持って読んでもらえると思います。

(「BOOK」データベースより)

361.454

MO



『「育ちがいい人」だけが知っていること』

諏内 えみ (著) (ダイヤモンド社)

話し方、食べ方、ふるまい、お付き合いの心得。真似するだけで、今からでも育ちはよくなる!

(「BOOK」データベースより)

385.9

SU



いつまでも消えない怒りがなくなる

『許す練習』

杉山崇 (著) (あさ出版)

「許さない人」は、その狭量から自身も「許されない人」になってしまう。その悪循環を断ち切るための心の育て方について、事例をもとに解説する。

(Amazonより抜粋)

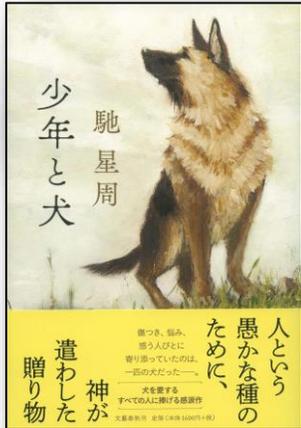
146.8

SU





913.6
HA

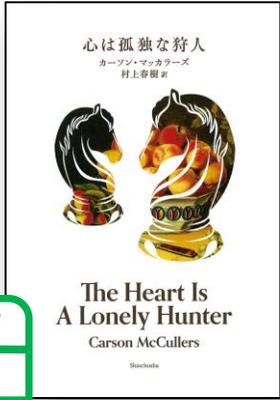


『少年と犬』

馳 星周(著) (文藝春秋)

第163回 直木賞受賞作
傷つき、悩み、惑う人びとに寄り添って
いたのは、一匹の犬だった——。
犬を愛するすべての人に捧げる
感涙作!

(Amazonより抜粋)



933.7
MC

『心は孤独な狩人』

カーソン マッカラース(著) 村上春樹(訳)
(新潮社)

フィッツジェラルドやサルリンジャー
と並ぶ愛読書として、村上春樹が
とっておきにしてきた古典的名作、
新訳で復活!

(「BOOK」データベースより)

019.9
KA



『物語の海を泳いで』

角田 光代(著) (小学館)

心に残る、あの本この本を、なんと350冊!
直木賞作家・角田光代のとびきりの
読書案内。
(Amazonより抜粋)

913.6
NO



『チーム・オベリベリ』

乃南 アサ(著) (講談社)

開拓に身を投じた実在の若者たちを基にした、
著者が初めて挑む長篇リアル・フィクション
(Amazonより抜粋)



913.6
AS



『類』

朝井 まかて(著) (集英社)

明治、大正、昭和、平成。時代の荒波に
大きく揺さぶられながら、自らの生と格闘
し続けた生涯が鮮やかによみがえる圧巻の
長編小説。
(Amazonより抜粋)

